

# 最終意見陳述

原告 土井 幹夫

# 目次

- **春日部市の学童保育に起こった激変**
- **常勤支援員複数配置の約束**
- **常勤支援員複数配置の必要性**
- **学童保育に求められること**
- **最後に**

# 春日部市の学童保育に起こった激変

## <保護者から見た常勤と非常勤>

常勤 → 先生

非常勤 → パートさん

- ・ 毎日、常時子供を見ている
- ・ 行事や制作を計画、実行
- ・ 子供の変化にすぐ気づく
- ・ 相談事は先生に
- ・ 親の仕事や生活についても聞いてもらえる etc.

## <保護者は社協への指定を望んでいた！>

2018年1月20日、保育課に要望署名2832筆を提出

- ・ **社協への指定を継続し、全児童クラブ一括運営と支援員の雇用継続**
- ・ **児童25人に一人の常勤支援員を配置**

しかし…

**2018年6月に行われた公募に社協は応募せず、(株)トライグループが指定を獲得する**

# 常勤支援員複数配置の約束

公募時の仕様書… **常勤支援員を複数配置  
児童5名以上の場合は更に1名を加配**  
Q&Aでは … **常勤とは週38時間45分勤務する者**



**これまでと同等の職員体制が取られるはず！**

7月上旬 → **社協が応募しなかったことが判明  
保護者や支援員に衝撃！**

9月25日 保護者への説明会  
保育課 社協は欠員が続いていて問題。  
民間企業に変わる事で欠員は解消する。  
保護者 **「常勤」とは8時間毎日勤務する事か？**  
保育課 **そうです。**

12月の説明会でも  
トライ **1400名の登録者。（人員確保は）大丈夫！**

しかし現実には…  
これまでにない常勤の欠員状態に！

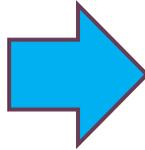
# 常勤支援員複数配置の必要性

## <支援員の1日>

12:00~14:30

子どもたちがいない時間

- ・施設管理、点検
- ・保育計画、お便り作成
- ・子供の様子を相談共有
- ・行事や制作の準備、etc.



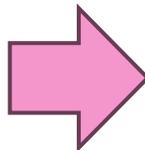
保育の質を確保するための重要な準備時間

**良い保育を実践するために不可欠**

14:30~19:00

子どもたちがいる時間

- ・遊びの見守り、促し
- ・行事や制作
- ・宿題への声かけ
- ・おやつを提供
- ・喧嘩やもめごと対応
- ・怪我や体調不良への対応
- ・お迎え父母への伝達



学校の教室とは異なり…自由に動き回る子供たちに向き合い続ける時間

# 常勤支援員複数配置の必要性

〈放課後児童クラブ運営指針〉

## 育成支援の基本（第1章3）

「子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら子どもが自ら危険を回避できるようにしていくとともに、**子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全な育成を図る**」

## 職員体制（第4章1）

「勤務時間については、子どもの受入れ準備や打合せ、育成支援の記録作成等、**開所時間の前後に必要となる時間を前提として設定されることが求められる**」

春日部市とトライが協定変更により定めた、

**「3. 5時間×週5日で常勤」**は、指針からも常識からもかけ離れた非常識な定義 **開所時間すらカバーできていない**

# 常勤支援員複数配置の必要性

## ＜常勤支援員の声＞ 常勤が一人だと・・・

- ・ハプニングが起きた時に手が回らなくなる。
- ・予測不能な行動をする子供たち。相棒がいないと相談できず辛い。
- ・これまではいろいろしてあげたいと思い、アイデアを考えて準備してきたが、そうした余裕が無くなった。毎日決まったことをこなすので精一杯。
- ・常勤は子供の事を見ながら、パートさんへの指示もしなければならない。時間が無い。

# 学童保育に求められること

全国的にも・・・

待機児童の問題が深刻

- ・ 国も地域も、数を増やすことに注力
- ・ 補助金も年々充実

公設学童保育への

民間企業の参入が急増

効率化、コスト削減圧力（←利益優先）

- ・ おやつは袋菓子、遠足などの戸外保育はなるべく行わない、等

指定管理者制度は保育事業にはなじまない！

指定管理で事業の質を確保するためには

選定時・・・ **仕様書にて委託内容を明確に！**

選定後・・・ **継続的な監視、不備があれば是正**

春日部の場合

常勤支援員の複数配置を推進しようとする国の姿勢にも逆行

指定先が要件(常勤支援員数)を満たせず → 行政が追認して協定を変更

# 学童保育に求められること



## 学童保育の補助金引き上げ人手不足解消へ こども家庭庁

2023年11月1日 6時33分

学童保育で働く職員の人手不足の解消につなげようと、こども家庭庁は、常勤の職員を1クラス当たり2人配置した施設には補助金を引き上げ、人材の確保や運営の安定化を後押ししていく方針を固めたことがわかりました。こども家庭庁は早ければ来年度の当初予算に関連する費用を盛り込むことにしています。

# 学童保育に求められること

＜学童保育は＞

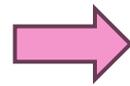
- ・子どもたちが安心して生活でき、成長できる
- ・異年齢集団の中で人との関り方を学べる
- ・働く父母の生活を支える

➡ 昼間の時間、家庭の代わりとなるべき環境の提供が必要  
保護者は、子どもの特徴を把握していて、日々の変化にも気づいてくれる支援員を求めている。

**ただ安全に子供を見守るのみであってはならない**

**毎日継続的に子供と関わる存在 → 常勤支援員**

待機児問題  
支援員の不足、労働環境  
保育の質の低下  
大規模問題, etc.



学童保育をめぐる  
**全国共通の問題**

**春日部は最悪！**

あからさまな  
約束違反

## 最後に

長男の入学以来、25年間に渡り春日部市の学童保育に関わってきた。  
かつては、児童51名以上では3人、  
76名以上では4人の常勤支援員がいた！



明確な保育環境の  
悪化

**現在：70名のクラブでも常勤1人のところも**

<子ども未来部次長の約束>

常勤複数配置を実現（欠員の解消）

8時間毎日勤務するのが常勤

→ **守られないまま放置？**

**行政を信じられない！  
安心して子供を預けられない！**

裁判を通じて、**心から安心して子供を預けられる  
学童が実現する事を期待**